



アングルや被写体に工夫を凝らした大学生の写真展

実大、ノートルダム清心女子大、陽大の36人が、テーマのない「フリー」と、「ポートレ

ート」「光と影」のテーマに沿って計106点を出品した。

雪化粧した夜の白川郷(岐阜県)の作品は、家の明かりが温かみを感じさせる幻想的な光景。水面から飛び立つ鳥を切り取ったモノクロ写真は躍動感があり、毛繕いするネコの一枚は気持ち良さそう

な雰囲気伝わります。

同市東区目黒町、主婦牧野尚子さん(61)は「自分では考えつかなかったアングルの写真もあり、若い人の感性に感

心する」と話していた。午前10時〜午後6時(最終日は同3時)。入場無料。(大橋孝平)

角度や被写体若い感性で工夫 県大学生写真連作品展

県内大学の写真部でつくる県大学生写真連盟の写真展「写謝」が、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん

さん太 ギャラリー

アングルや被写体に工夫を凝らした力作が来場者を楽しませている。

10日まで。 岡山大、県立大、就